

# 京の飲

八件と約四倍に増えたほか、三十四年ぶりにフグの食中毒も発生した。また、食品の抜き取り検査で大腸菌が検出されるなど、食品で違反が見つかったため、市は引き続き監視指導を強めていく。

## 34年ぶりフ

間に市が許可する約三万六千五百施設を対象に保健所が約八万回、監視指導に入った。  
この結果、食中毒の疑

## 抜き取り検

連続製品から大腸菌群、夏季を迎えるため、市は漬物から基準を超える保 各施設に食品の衛生管理 原料を検出するなど六食の徹底をさらに呼び掛け 品で違反があった。  
一方、中国産冷凍キョ  
ていく。  
(下屋方雄)

# 校長自ら高校紹介

## 左京で説明会 ブースごと中学生に

普通科がある京都市とに設けられたブース・乙訓地域の公立高合 度で校長自ら中学生に 同説明会が五日、京都 語り掛けるなど、会場 市左京区のみやこめっ は進路を考える中学生 せて始まった。高校こ が詰め掛けた。

同地域では二〇〇九年度から、現在の四通学園が南北二通学園となり、面接や小論文で判定する特色選抜が普通科I類に導入される。新しい入試制度の周知を図ろうと、府教委と京都市教委が初めて地域全体の合同説明会を企画した。



稜

制服などが展示された高校別ブースを回る中学生ら(京都市左京区・みやこめっせ)

二十二の高校別ブースでは、学校生活をビデオ上映したり、英検資格保持者の人数をパネルにするなど視覚に訴える展示があり、担当者が選抜方法などの質問に個別に応じた。参加高校が順に自校をPRする全体説明会もあり、藤森中三年野崎咲帆さん(15)が「伏見区は、通学圏が違っても高校も比べられていい」と話してい

# 北東アジアを非核地帯に

## 京の市民団体構想を提唱



世界の核兵器廃絶に向けて、京都市の市民団体「非核の政府を求めめる京都の会」代表、望田幸男同志社大名誉教授が、北東アジア(日本、韓国、北朝鮮)での核兵器保持や他国の配備を禁止する「北東アジア非核兵器地帯条約」構想を提唱している。市民運動として盛り上げようと市民の賛同金でポスターを作製した。

## ポスター作製、運動盛り上げ

同会によると、ラテンアメリカ・カリブなど五地域では、核を持たない国が加盟する「非核兵器地帯条約」があり、アメリカなど核保有国と議定書を交わし、使用を禁止させる動きも進んでいるという。望田代表は「北朝鮮に核兵器を放棄させた後の展望として、北東アジアの非核地帯化を目指すべき」と話している。府内ではすでに個人約六百人と約百四十団体の賛同があり、寄付金で約二千枚の啓発ポスターを作った。今後、近畿の団体とも連携しながら運動を広げる方針。  
(広中孝至)

た。府教委によると、この日は約三千五百人が来場した。六日も午前十時から午後三時まで開かれる。  
(岡本卓苗)

長崎平和宣言文 9カ国語に翻訳 市核廃絶広く訴え

久市長が読み上げる平和宣言文を起草する委員会は開き、宣言文の翻訳を五カ国語から九カ国語に増やすことを明らかにした。「核廃絶の訴えをより広く世

界に伝えたい」と(同市も言及する。田上市長は委員会終了後、「核兵器廃絶は必ずできるという強い思いを持って読み上げたい」と決意を語った。

平和祈念式典で田上富絶の訴えをより広く世